

1 はじめに

- 英語教育学科では、国際共通語としての英語運用能力を身につけ、積極的に国際社会に貢献できる人材、および社会の多様な場面で英語教育を実践できる人材の養成を目指し、「英語教員養成コース」と「ELFコミュニケーションコース」の2つのコースを設置しています。大きな特色は、2年次秋学期から3年次春学期にかけて海外留学プログラムを必修としていることです。この体験により異文化への理解を深め、国際感覚を身につけ、英語運用能力を高めていきます。
- 留学前・留学中・留学後の学修により、広い視野での言語観を養い、文化に対する豊かな感受性を磨いていきます。「英語教員養成コース」では英語教育の現場に立つための理論と実践を組み合わせた学びを通して、高度な英語力と国際感覚を備えた英語教員を養成します。「ELFコミュニケーションコース」では高度な英語力と国際感覚を備え、国際協力の分野やグローバル企業など広く社会で活躍できる人材を養成します。

2 カリキュラム・ポリシー

- ① 国際共通語としての英語の運用能力および国際的素養を高いレベルで修得できるようにするため、2年次秋学期から3年次春学期に2セメスターの留学プログラムを配置し、その前後で留学での学びを最大限に活かせるように体系的に語学科目（ELFプログラムなど）および日英両語で開設されるコンテンツ科目を配置したバイリンガルプログラムを提供する。
- ② 「英語教員養成コース」においては、即戦力として英語教育の現場に立てるよう、理論と実践を組み合わせた効果的な英語教員養成プログラムを構築する。
- ③ 「英語教員養成コース」においては、学部と大学院の連携による発展的なカリキュラム編成を行う。
- ④ 「ELFコミュニケーションコース」においては、国際共通語としての英語を駆使して国際社会で活躍できるよう、必要とされる知識や技能を修得するための科目を配置する。
- ⑤ 自らの観測・研究・考察の結果を口頭または文書で的確に論理的に表現できるようにするため、少人数グループの協働・参加型学修を継続的に実践できるように科目を配置する。
- ⑥ 獲得した知識や考察の結果を活用し、実践や応用に結びつけることができるように、問題解決型・プロジェクト型の4単位科目を適宜配置する。
- ⑦ 言語や文化の多様性を理解、受容し、国際的な視野に立って行動できるよう、留学プログラムで実践的な経験を積む。また留学後も海外経験が生きるように専門科目を体系的に配置する。

3 卒業要件

英語教育学科では、以下の7つの条件を卒業要件として定めています。

(1) 修業年限をみたすこと

(2) 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること

(3) 累積GPAが2.00以上であること

(4) ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること

〈必修科目〉 玉川教育・FYE科目群：英語教員養成コース・ELFコミュニケーションコース
ともに「一年次セミナー101」「一年次セミナー102」「玉川の教育」「健康教育」
「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」

〈必修選択科目〉 人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群・学際科目群：英語教員養成コース・
ELFコミュニケーションコースともに4つの科目群の中から合計4単位以上
言語表現科目群：英語教員養成コース・ELFコミュニケーションコースともに「ELF101」
「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」より3科目12
単位以上
ELFコミュニケーションコースのみ「フランス語101」「フランス語102」
「ドイツ語101」「ドイツ語102」「スペイン語101」「スペイン語102」「中国語101」
「中国語102」より1科目2単位以上

(5) 学科科目について、次の必修科目を修得していること

【英語教員養成コース】

100番台科目：「Vocabulary Building A」「English for Academic Purposes A」
「English for Academic Purposes B」
200番台科目：「Pre-departure Seminar」「English Grammar」「World Studies」
300番台科目：「English in Global Contexts」
「Multiculturalism in English-speaking Areas」~~「ELT Seminar A」~~
「British and American Literature」
400番台科目：~~「ELT Seminar B」~~~~「ELT Seminar C」~~「Senior Project」

【ELFコミュニケーションコース】

100番台科目：「Vocabulary Building A」「English for Academic Purposes A」
「English for Academic Purposes B」「日本語表現演習」
200番台科目：「Pre-departure Seminar」「English Grammar」「World Studies」
300番台科目：「English in Global Contexts」
「Multiculturalism in English-speaking Areas」
~~「ELF Communication Seminar A」~~
「British and American Literature」
400番台科目：~~「ELF Communication Seminar B」~~
~~「ELF Communication Seminar C」~~「Senior Project」

英語教員養成コース・ELFコミュニケーションコースと
もに、次の必修選択科目より3科目6単位を修得していること
ELT Seminar A
ELT Seminar B
ELT Seminar C
ELF Communication Seminar A
ELF Communication Seminar B
ELF Communication Seminar C

(6)

~~(6)~~ 英語教員養成コース・ELFコミュニケーションコースともに、学科科目の300番・400番台科目から、

(7) 上記(5)で示した科目および「English for Intercultural Communication B」
「Intercultural Communication B」
「English for Academic Purposes (Advanced)」
「Studies in ELT」「Studies in ELF Communication」
をのぞき、選択科目10単位以上を修得していること

~~(7)~~ 英語教育学科が定めた留学をしていること

(8)

「Academic English Skills B」
「English for Writing Research Papers」
「Strategies for Global Communication」

4 卒業までの単位配分

- 卒業までに必要な単位数は、第1セメスターから第8セメスターまで、合計124単位です。
その内訳は次のとおりです。

科目群	科目分類	英語教員養成コース	ELFコミュニケーションコース
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE 科目 必修	7	7
	人文科学科目群	} 4以上	} 4以上
	社会科学科目群		
	自然科学科目群		
	学際科目群		
	言語表現科目	ELF科目 12以上	ELF科目 12以上 その他の外国語 2以上
	小計 16以上	小計 18以上	
英語教育学科科目	100番台	必修 9	必修 11
	200番台	必修 6	必修 6
	300番台	必修 8 6 必選 2	必修 8 6 必選 2
	400番台	必修 6 2 必選 4	必修 6 2 必選 4
	300・400番台*	選択 10以上	選択 10以上
自由選択科目	自学科、他学部、他学科、ユニバーシティ・スタンダード科目、単位互換制度で修得した他大学の単位	任意	任意
累積修得単位		124以上	124以上

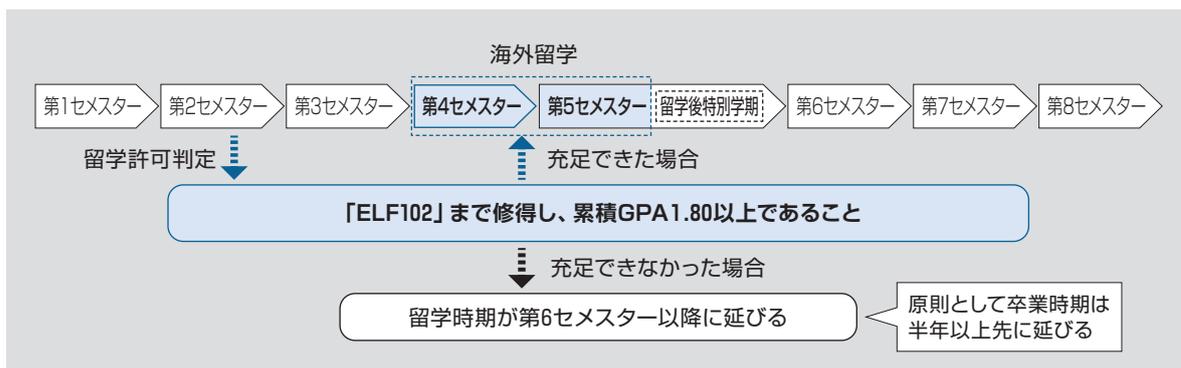
※ただし「English for Intercultural Communication B」「Intercultural Communication B」「English for Academic Purposes (Advanced)」「Studies in ELT」「Studies in ELF Communication」は除く
注) 留学期間内の単位振替認定は32単位までとする。

↑
「Academic English Skills B」
「English for Writing Research Papers」
「Strategies for Global Communication」

5 留学許可条件

- 英語教育学科の学生は、全員が第4 Semesterと第5 Semesterに留学します。留学期間中に十分に学び、力を高めるためには、留学前にしっかりとした学修習慣を身につけておく必要があります。このため、第2 Semester終了時に、以下の2つの条件を両方とも満たしているかどうかによって、留学許可の判定を行います。
 - ① 第2 Semester終了時点で「ELF102」までの単位を修得していること
 - ② 第2 Semester終了時の累積GPAが1.80以上であること
 (第2 Semesterと第3 Semesterの間に開講されるウィンターセッションの成績は、上記①②の条件に含めない)
- 留学許可条件を満たせていないと、第4 Semesterから留学することはできません。

■ 第2 Semester（1年次）終了時における留学許可判定



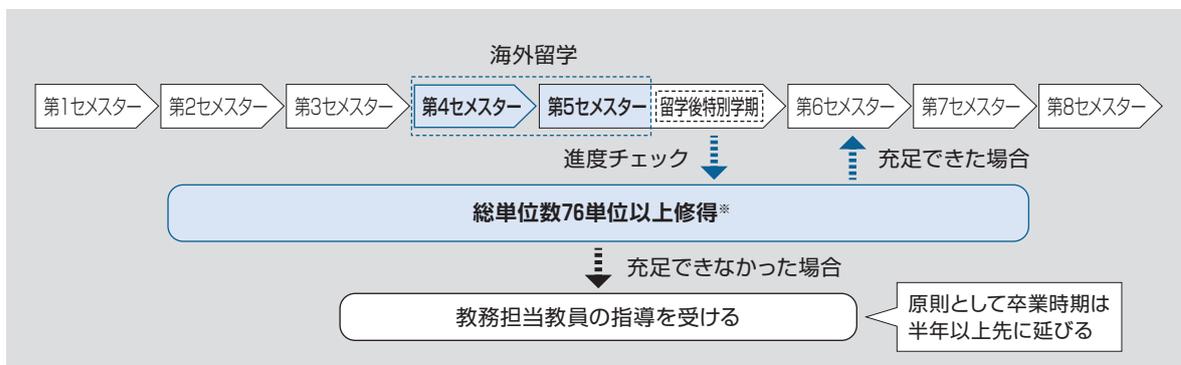
6 学修継続条件と進捗チェック

■ 学修継続条件

- 玉川大学では全学部に通ずる「学修継続条件」を定め、これを満たせない学生には「警告」が出されます（p.33を参照）。英語教育学科の留学先は複数あり、学期期間の設定などが同一ではありません。このため、海外留学期間および留学後特別学期については、留学後特別学期終了時に一括して学修継続条件判定を行います。この期間のGPAが2.00未満の場合、「警告」の対象となります。
- この期間以外の各 Semester末には、玉川大学共通の「学修継続条件」による判定が行われます。

■ 進捗チェック

- 英語教育学科では、一人ひとりの学生の学修状況が学士課程の修了に向けて適切に進んでいるかチェックするために、下図の通り、留学後特別学期の終了時に、総単位数76単位以上を修得できているか否かのチェックを行います。



※ 留学許可条件に抵触し第6 Semester以降に海外留学をした場合は、帰国後に行われる留学後特別学期の終了時に総単位数92単位以上を修得できているかチェックします。

7 履修上の留意事項

① 免許・資格の取得について

- 英語教員養成コースは、原則として全員が教職課程を受講します。第2セメスター終了時に教職課程受講継続判定を受けて許可された場合は、学科の卒業要件を満たしつつ、免許状取得に必要な科目を履修して単位を修得しなければなりません。『教職受講ガイド』の該当ページを参照し、教職担当教員や教師教職リサーチセンターの指導・ガイダンスを受けて、必要な単位をもらって修得できるように履修計画を立てましょう。
- また、第6セメスター終了時に、第7セメスターに教育実習を行うための判定が行われます。その条件についても『教職課程受講ガイド』を参照し、実習前に必要な単位を修得するよう注意してください。
- ELFコミュニケーションコースは、希望すれば日本語教員資格の取得が可能です。その場合は、学科の卒業要件を満たしつつ、他学部あるいはユニバーシティ・スタンダード科目群開講の科目を履修して単位を修得しなければなりません。『履修ガイド』p.216～217の日本語教員資格課程表を参照し、ガイダンスを受けて、必要な単位をもらって修得できるように履修計画を立てましょう。

② コース変更について

- 第2セメスター終了時に、希望すればコース変更が認められます。ただし、変更後卒業までに免許・資格取得に必要な単位を取りきれない場合がありますので注意してください。

8 「Overseas Study A/B/C」「School Internship A/B/C」「Internship A/B/C」認定申請条件

- 学科の規定により単位を認定しますが、いずれも①プログラム着手前に、担当教員に活動内容と時間数を申告し、受け入れ先の承諾書（あるいはそれに類するもの）を提出して事前審査を受けること、②事前指導・事後指導を含めて90時間以上の活動が行われたと認められること、③「Internship A/B/C」については受け入れ先と玉川大学のあいだで契約書を取り交わすこと、が必要です。
- 詳しくは、各担当教員に相談して必要なガイダンスを受けてください。